

国立市議会議長 青木 健 様

**5歳から11歳の子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種に対して、
保護者が参考にできる正確な情報の告知を求める陳情**

【陳情の趣旨】

この度、5歳から11歳の子どもに対して新型コロナウイルスワクチン接種が実施されることになりました。既に12歳以上には実施されていますが、2022年1月21日、厚生労働省から発表されたものによると（2020年9月2日～2022年1月18日までの累計）、10代の新型コロナウイルス感染症の重症者数と死亡者数のどちらも、ワクチン副反応由来として厚生労働省に報告のあった人数の方が上回ってしまっています。重篤な内容としては、深刻な記憶障害など、未来ある子どもたちにあってはならない痛ましいものです。また、10歳以下で、新型コロナウイルス感染症で亡くなった子どもは一人もいません。

これらのことは、一般的に市民が目にすることもなく、ワクチン副反応に対する情報も不足していると感じます。子どものことは保護者の判断に委ねられています。保護者に客観的な情報、事実に基づく判断材料を提供して下さい。このことに関して情報格差があってはならないと考えます。

【陳情事項】

5歳から11歳までの新型コロナウイルスワクチン接種対象者、保護者に対し、厚生労働省発表の新型コロナウイルスワクチン接種後の重篤副反応の事例とその報告数、死者数等を国立市として提示し、リスクとベネフィットの両面から判断できるようにして下さい。